

平成30年度第3回上越市社会教育委員・上越市立公民館運営審議会委員会議 次第

日 時：平成31年2月25日(月)
午前10時から

場 所：教育プラザ研修棟3階 大会議室

1 開 会

2 議 題

(1) 平成30年度事業評価結果について

資料 1

(2) 平成31年度補助金交付予定事業について

資料 2

(3) その他

3 その他

4 閉 会

| 事業名 | ねらい | 開催日時 | 開催場所 または集合場所 | 活動内容 | 参加者数 | 社会教育委員による 事業評価 | | | | | | | | | 評価シートから見た課題 | 来年度対応する内容 |
|------------|--|------------------------|--|-------------------|--|--------------------|--|---|---|-------------|---|----------------------------|--|--|---|---|
| | | | | | | 目的に対して、活動内容は適切であるか | | 目的に対して、講師の選定は適切であるか | | 活動時間は適切であるか | | 全体の雰囲気、参加者の様子や 取り組み姿勢など | | 全体を通しての感想及び 意見(自由記述欄) | | |
| | | | | | | 評価 | コメント | 評価 | コメント | 評価 | コメント | 評価 | コメント | コメント | | |
| 上越市公民館のつどい | 上越地区の公民館関係者が一堂に会し、各地域における社会教育活動の実践成果を持ち寄り、交流を深める機会を通じて、今後の社会教育・公民館活動を推進する。 | 11月8日(木) 9:30～15:30 | ユートピアくびき希望館 | 講演会・事例発表 意見交換会 | 121 | | ・新潟県の今後の生涯学習の方向性と、公民館活動への期待、事例発表等が無理なく構成されていた。 | | ・新潟県の生涯学習の方向性と、公民館活動の意味づけや期待等が、具体的な資料を基に示されたと思う。 | | ・概ね妥当である。 | | ・参加者は、前半の説明と講演をしっかりと聴取していたと思う。 ・後半の意見交換が、参加者の選択性でもあったため、より活発な話し合いができたと思う。今後もこうした選択制を進めてほしい。 | ・公民館関係者が一堂に会して、研修を深めることはとても大切だと思う。 ・参加者それぞれ地域の実情は異なるが、仲間の事例にお互いに学ぶ姿勢は社会教育にとっても大切である。 ・今後も交流を図りながら、公民館活動がより活発化していくことを望む。 | 活動内容 時間の設定 開催時期の設定 公民館運営委員の参加率 公民館PRコーナーの活用 | 【来年度】 ・意見交換も含め、参加者同士が交流できるような時間をもっと確保できるように全体スケジュールを見直す。 ・公民館運営委員の参加率を上げるため、周知時期を早めるほか、土日開催も含めて開催時期を検討する。 ・本事業が公民館運営委員の研修の一環であることを認識してもらうことにより、参加率につなげる。 ・各公民館活動がより分かりやすく伝わるように、公民館PRコーナーの内容や紹介方法について検討する。 【その他】 ・各公民館によって活動や運営委員の意識に温度差があるため、本事業を継続することにより、公民館活動に対する意識が高まり、差を縮めることができるよう努めていきたい。 |
| | | | | | | | ・様々な地区で頑張っている方々がこのように情報交換をして活力をもらえる行事(事業)であり、目的を十分に果たしていると考えられる。 ・県の施策が聞けたのは良かった。 | | ・新潟県として生涯学習について知ることができたのは、有り難く、講演の人の一生としてみた生涯学習の話は面白かった。 ・すばらしい講師の選定だった。 | | ○ ・午前中は説明、講演と聞くという活動だけだったが、意見交換や話し合い等、Face to Faceのもっとアクティブな活動場面があってもよかったのではと思う。 | | ・参加者は、非常に真面目に研修に参加している様子が伺えた。 ・意識の高い人が多いことにびっくりした。 | ・同じ立場で頑張っている活動の様子を聞く、自分も頑張ろうという活力をもらうことができ、こころ新たに「がんばろう」とリフレッシュできることが有り難かった。 ・新潟県の施策を聞くことができ、「学校と地域の連携」ということにもっと力を入れられないかと考えさせられた。 ・講師先生が言われたように、このつどいを土日の開催にして、市民にも参加してもらえる方が良いかもしれない。 ・講演の中で、新潟県の公民館の歴史等は大変面白かった。 | | |
| | | | | | | | ・市内のみならず共催の三市の公民館関係者が集まり交流を深める活動だった。 | | ・現場で公民館活動を実践、推進していく人にとっては、より実務的な内容の講演であった。 | | ○ ・意見交換の時間をもっと充実できればなお良かった。 | | ・講師先生の話は、公民館の存在意識を考えさせられるとても良い内容で、感銘を受けた。 ・1958年の高田市の婦人学級のプログラムの講演内容は現在でも聞きたい(学習したい)と思った。 ・前日上越市に入り、公民館を訪問して当日の講演につなげるとは、さすがと思った。 ・運営委員の参加率が25%とは残念でならない。自覚のなさなのか、ボランティアで手当がないからなのか検証してみる必要があるように思う。 ・事例発表の千葉の中村公民館主事の話は次回、講演としてとりあげていただくことも「あり」と思う。 | | | |
| | ・市内だけでなく、妙高・糸魚川からの参加もあり、公民館を中心に行われている活動を共有できたので良かったと思う。 | | ・上田先生、中村様は共に県外でご活躍にて、市外での取組も参考になる部分が多かった。市内公民館の事例発表もよくまとまっていたので良かった。 | | ・座ってきいている時間が長かったかもしれませんが、内容が濃いのでこれくらいの時間は必要。 | | ・参加者は皆、熱心に話を聞いていたが、せっかく運営委員の方々が多く集まっていたので、お互いの情報交換や交流を深める場がほしかった。 | ・廊下にチラシがたくさん置いてあり、また各館のPRパネルも参考になった。昼休みくらいしかゆっくり見る時間がなかったが、とてもいいコーナーだと思うので、PRしたい、交流したい方は、自分の館のところに15分くらいでもらえる時間をつくってみたらいいなと思った。(または地域別交替など) ・公民館という組織そのものの違いが話題になることも多く、話がかみ合わないことも、「公民館運営のための公民館」にきこえることもある。「この公民館は」があるから、××をやるから、公民館として必要なんだ」という運営側の意識・目標が、活動から感じられる場であってほしいと思う。 | | | | | | | | |

平成30年度 謙信KIDSプロジェクト事業評価

| 事業名 | ねらい | 開催日時 | 開催場所 または集合場所 | 活動内容 | 講師 | 参加 者数 | 社会教育委員による 事業評価 | | | | | | 評価シートから見えた課題 | 来年度対応する内容 | | | |
|-----|---|---------------------------------|------------------|------|-------------------------------|----------|---|---|---|----------------------|---|--|---|---|--|------|--------------------------|
| | | | | | | | 目的に対して、活動内容は 適切であるか | | 受講時間は適切であるか | | 講座全体の雰囲気 | | | | 参加者の様子、取組む姿勢 (受講中の表情など) | | 全体を通しての感想及び 意見(自由記述欄) |
| | | | | | | | 評価 | コメント | 評価 | コメント | 評価 | コメント | | | 評価 | コメント | コメント |
| そば | 上越の特産「とよむすめ」 の栽培から、そば打ちまで の一連の作業を通して、 生産者の工夫を学び、収 穫と食に感謝する。 | 【1回目】 7月28日(土) 9:00～13:00 | 牧区ふるさと村「木 草庵」 | 種まき | 庄司の郷づくりの会 木草庵代表 上原 正彦さん | 19 | | ・1年生から3年生までな ので、生活科との結びつ きを思い出しながら、活動 することができた内容だっ た。 | ・そばの話と種まき、育て 方など盛りだくさんでは あったが、活動の流れが スムーズでちょうどだっ た。 | | ・1回目なので表情が硬く 緊張が見られた。しかし、 丁寧に話や指示があり、 自分のペースで活動がで きた。 | | ・参加者は1年生もあり、 指示や話の内容を理解す るのに補助が必要と思わ れたが、好き勝手な行動 をすることなく、全員同じよ うに活動することができ、 大変良かった。 | ・気温は高かったが、曇っていて比較的 活動がしやすかったと思う。しかし、熱 中症予防の配慮があり安全に活動する ことができた。 ・テキストやそばの種、観察ボット、芽 出し用のタッパなど準備が完璧だっ たと思う。興味を持ち、多くの子どもが夏 休みの自由研究として取り組むのが楽 しみである。1年生にとっては、テキスト の内容は難しいと思われるが、家に 帰って保護者が見ても分かりやすいの で、素晴らしいと感じた。 ・種まき、2回目の刈り取り作業は天候 に作用される。限られた時間の中、講 師をはじめお手伝いもいてどんな状況 でも対応できると感じた。 ・昼食時は喜んでそばを食べていた。 量が多かったのか思ったより全部食べ きれない子どもがいた。案内に足りない 人はおにぎりという表記があったが、な くても大丈夫だと思う。 ・子どもたちは楽しく、思い出に残る活 動になったと思う。 ・そばが苦手だという子どもがいた。こ の活動を体験することにより好きになっ てほしい。 | 【来年度】 ・当該講座については、来 年度は実施しないが、他 の講座への参考として以 下のとおり対応したい。 ・1～3年生は、学習段階 による差が大きいことか ら、全学年で同様の課題 に取り組むことは難しいこ とは承知している。その上 で、テキストでの学習は、 学年や各自の実態に応じ てできるところまでよい ことを明示する等の工夫 をしたい。 ・食事の量は少な目に 盛って、おかわりができ るようにする等の配慮をし たい。 | | |
| | | 【2回目】 10月6日(土) 9:00～14:00 | | 収穫 | | 15 | ・刈り取り、はさがけ、石 臼で粉にするまで体験で き次回につながる活動 だった。 | ・クレープづくりから食べ て、すぐ昼食になるのは少 し工夫する必要がある。 | | ・楽しそうに講座に参加し ていた。 | ・暑い中、一生懸命に作業 に取り組んでいた。 | ・小学1～3年生が対象であったが、1年 生にとっては学習の時間は大変そう だった。(シート用紙に書いてあること を各自で調節してもらおう ように伝える。 ・1～3年生は、学習段階 による差が大きいことか ら、全学年で同様の課題 に取り組むことは難しいこ とは承知している。その上 で、テキストでの学習は、 学年や各自の実態に応じ てできるところまでよい ことを明示する等の工夫 をしたい。 | 【来年度】 ・当該講座については、来 年度は実施しないが、他 の講座への参考として以 下のとおり対応したい。 ・事前の連絡で、軽食もあ ることを想定して弁当の量 を各自で調節してもらおう ように伝える。 ・1～3年生は、学習段階 による差が大きいことか ら、全学年で同様の課題 に取り組むことは難しいこ とは承知している。その上 で、テキストでの学習は、 学年や各自の実態に応じ てできるところまでよい ことを明示する等の工夫 をしたい。 | | | | |

平成30年度 上越市美術展覧会事業評価

| 事業名 | ねらい | 開催日時 | 開催場所 または集合場所 | 活動内容 | 出品者数/点数・ 入場者数 | 社会教育委員による 事業評価 | | | | | | 評価シートから見た課題 | 今年度対応した内容と 来年度対応する内容 | | |
|----------|--|---------------------------|-------------------------|---------|-------------------------------------|-------------------|--|-----------------------|---|---|---|---|-----------------------------|---|--|
| | | | | | | 開催時期、会期、会場は適当であるか | | 発表の場となり、鑑賞する機会となっているか | | 来場者の雰囲気や来場者の様子はどうか(開場式や表彰式の雰囲気、鑑賞者の様子や会話など) | | | | 全体を通しての感想及び意見(自由記述欄) | |
| | | | | | | 評価 | コメント | 評価 | コメント | 評価 | コメント | | | コメント | |
| 上越市美術展覧会 | 市民の美術活動の成果を発表する場や鑑賞の機会を提供し、誰もが生涯学習活動ができるよう支援する。市展入選作品を展示、鑑賞することにより美術への関心を高め、文化振興を図る。 | 9月30日(日) 9:50～10:40 | 高田公園オーレンブラザ | 開場式・表彰式 | 出品者数272人 (出品点数317) 入場者数4,373人 | | ・学生(小中高)が学校で文化祭や学園祭が行われる秋に行われることは意味があると思う。 ・会場も野球場や陸上競技場など人が集まる場所の近くでの開催は意味がある。 | | ・パンフレットも見やすかったが、展示品の隣あたりに審査員の1、2行のコメントがあれば、鑑賞するときに更に作品をよく理解できるように感じた。 | | ・開場式、表彰式はとても良い雰囲気であった。また来年に向かって制作に励もうという気持ちを持たせてくれた良い雰囲気であった。 | ・入賞者の中に若い人がいたことは今後の上越市の芸術文化の振興という点で大変うれしいことである。今後も若い世代が活躍できる場がたくさんできると有り難い。 ・若い学生の姿があまりみられなかったように思えるが、今後の上越市の未来を考えると、若い人々が出品できるようなカテゴリーを作ればもっとそのを広げることができると思う。 ・開場式で作品に関する審査委員長からの講評が部門毎にされ、大変分かりやすく面白かった。また、作品を出品された方や入賞された方の制作意欲がかきたられてよかったと感じた。 ・若い人や学生などの出品を増やすために、出品された作品全てに審査員からのコメントやアドバイスをつけて返却していただくと、創作意欲の増加になると考える。 ・学校の文化祭、学園祭などで入賞作品を貸し出して「上越市美術展覧会」のコーナーを作ってもらって学生や保護者に芸術に親しんでもらう場面を多く作ってやれば若者を育成できるかもしれない。 | 若年層の出品者数の増加 ・無料シャトルバスの周知 | 【今年度】 ・昨年度までは3会場で開催し、移動負担や全部門を1会場で鑑賞といった理由から、1会場での開催を望む声があった。今年度は、高田公園オーレンブラザとミュゼ雪小町の2会場で開催し、移動負担の軽減や部門を集約したことから、来場者からは一定の評価をいただいているが、1会場で全部門を鑑賞したいといった要望は依然としてある。今後も来場者等からの意見を参考に、より鑑賞しやすい環境を整えるため、市展運営委員会とともに検討を行っていく。 | |
| | | 9月30日(日) 9:50～10:40 | 高田公園オーレンブラザ | 開場式・表彰式 | 出品者数272人 (出品点数317) 入場者数4,373人 | | ・会場は、新設された市のイベント施設で雰囲気も良く適切だった。 | | ・ミュゼ雪小町との併設開催だったが部門別に分けて落ち着いた鑑賞することも良いと思う。 | | ・簡素な式典であるが、担当されたスタッフの対応に好感が持てた。 | ・美術関係の展示施設も少なく文化的な事業の発表の場が少ない上越地域のレベル向上を図る機会として、大切な展覧会だと思ふ。 ・運営委員長の講評の中で、若年層の掘り起こしが急務との言葉があった。短絡的なデジタル社会の中で美しいものや切実な感情表現としての美術教育が必要だと感じた。 | | | |
| | | 10月2日(火) 10:00～18:00 | ・高田公園オーレンブラザ ・ミュゼ雪小町 | 会期中 | 出品者数272人 (出品点数317) 入場者数4,373人 | | ・会期はもう2～3日長い方が良いように思う。個人の事情でいえば会期後半は地域の行事で時間をとられることが多く、市展に行きたくても無理である。 | | ・広々とした空間、いずれの会場でもゆったりと鑑賞する市民の姿が多く見受けられた。 ・熱心に鑑賞する人々の姿に心うたれるほどだった。 | | ・広々とした空間、いずれの会場もゆったりとしているため雰囲気がとても良い。 | ・洋画、版画、写真をはじめ全ての分野で市民の力作が寄せられ鑑賞する人も熱心であり、市の美術展覧会としての意義は十分に認められる。 ・今回の2会場は妥当であった。継続してほしい。 ・無料シャトルバスがあることについては、もっと積極的に知らせるべきではないかと感じた。また、便数は少なくとも良いから平日にも運行した方がよいのではないか。もちろん実際に乗車する人の数はおそらくそれほど多くないと予想されるが、平日でも運行しているというところに大きな意義があると思う。 | | | |
| | | 10月8日(月・祝) 10:00～16:00 | ・高田公園オーレンブラザ ・ミュゼ雪小町 | 会期中 | 出品者数272人 (出品点数317) 入場者数4,373人 | | ・今年から2会場になり、行動しやすかった。ただ、オーレンブラザのコンサートホールは初めての方もいたようでそちらに興味を示していた人もいた。 | | ・無鑑賞の作品があまりにも多い部門があった。 | | ・オーレンブラザの会場は親子連れの方も入場されていて良かった。 | ・最終日で天気も良かったが、予想よりも鑑賞者(入場者)が少ないように思えた。 ・シャトルバスもオーレンブラザ1時発のバスを利用してみたが、運転手の話では本日、初めての乗客ということで、ミュゼ雪小町2時半発のバスも貸切状態、この間に1人だけの乗車だったとのこと。平日はバスが出ないようだが、年配者はかえって平日の方が利用するのではないかと思った。シャトルバスの案内(運行時間等)は事前にもっとPRした方がいいと思った。 ・できたらオーレンブラザの1会場できるといいと思った。 | | | |

平成30年度 元気の出るふるさと講座(行動する人づくり)事業評価

1年目(高田区、春日区、直江津区、有田区)

地域を知り、地域の課題を把握する講座(地域の活動団体紹介、地域めぐり、地域の課題を把握)

| 地区名 | ねらい | 開催日時 | 開催場所 または集合場所 | 活動内容 | 講師 | 参加 者数 | 社会教育委員による 事業評価 | | | | | 評価シートから見えた課題 | 今年度対応した内容と 来年度対応する内容 | | | | |
|-----|---|--------------------------------|-----------------|--|--|----------|---|-----------------------------------|---|----------------------------------|---|---|---|----------------------------|----|--------------------------|------|
| | | | | | | | 目的に対して、活動内容は 適切であるか | | 受講時間は適切であるか | | 講座全体の雰囲気 | | | 参加者の様子、取組む姿勢 (受講中の表情など) | | 全体を通しての感想及び 意見(自由記述欄) | |
| | | | | | | | 評価 | コメント | 評価 | コメント | 評価 | | | コメント | 評価 | コメント | コメント |
| 高田区 | 地域の歴史や文化、自然など地域学習を中心に行い、地域の魅力を再発見することで、住民の意識統一を図ることができるよう促す。 1年目...高田区の歴史を学ぶほか、歴史的建築物や施設等を見学し、地域の現状を知る 2年目...高田区の歴史や地域の取り組みを学ぶとともに、3年目の活動内容について考える。 3年目...参加者での話し合いをもとに、活動(成果物作成も含む)を実践する。 | 【2回目】 8月2日(木) 9:30~11:30 | 高田地区公民館 | 街角ウォッチングと題し、次回の現地学習の事前学習として、高田区の歴史や文化を学ぶ。 | 文化行政課 小島幸雄学芸員 | 25 | ・上越の中心街区を成す高田の実態を知るための実地視察の事前研修として判りやすい内容だった。 | ・実質90分程度は適切と思う。 | ・地域の中心エリアの人たちで旧13町村の参加者とは少し違った雰囲気があった。 | ・質疑ではもう少し深みのあるものが欲しかった。 | ・「街角ウォッチングへの招待」とのテーマに沿った適切な講義だった。 ・「史跡、遺跡、文化財などそのものは死んだ街の事象だ。特徴のある「城下町高田を今後、どう生かし活力ある地域にするか、担い手の一つとして若い高校生たちに勉強してもらいたい」という指摘は良かった。 ・第三回目への事前準備として良い企画だと思った。 | ・マイクの使用についての指摘 ・参加者の確保 ・次年度の講座内容の検討 | 【今年度】 ・マイクの使用についての指摘に関し、会場の広さ、講座参加者の年齢層を考慮し、会場設備マイクを借用し対応した。 【来年度】 ・参加者の確保について、参加者募集の段階で講座の趣旨及びすべての回への参加を説明し、学習講座のみの参加者が出ないよう働きかける。 ・次年度の講座内容の検討について、3年目の活動に向けての話し合いの場で参加者が積極的に議論するよう働きかけていく。 | | | | |
| | | | | | | | | | ・講師の話術の巧みに皆さんいきいきと聞いていた。 | ・内容が身近なものであり、熱心に楽しそうに聞いていたように思う。 | ・前半、マイクを使わず聞き取りにくい所があった。あの面積位であると声が大きくても割れてしまっているように思う。 | | | | | | |
| | | | | ・地域の歴史や文化、自然など地域学習へのとびらが大きく、豊かに開かれる時間であった。 | ・興味深い話だったので、またたく間に時間が過ぎた感じである。 ・受講時間は適当である。 | | ・講師のあたたかい人柄が講座全体の雰囲気をなごやかなものにしていて。 | ・参加者は熱心に受講していた。 ・真剣な表情が印象的である。 | ・「街角ウォッチングへの招待」の題名にふさわしく、高田の街のさりげない所に秘められた大きな意味について、具体的な映像や話とともに分かりやすく伝えられ、聴講して感動した。 ・参加者も非常に熱心に聞いていた。例えば、金津おけ店の看板にある「梅」のひと文字が、田端の存在について豊かに語るものであることなど勉強になり、同じ思いをもつ参加者は多いと思う。 ・次回に向け今回の活動は、そのための予習としてすばらしい活動だったと思う。 ・一回ごとの講座が結びあってきつと有意義なものになると思う。 | | | | | | | | |

| 地区名 | ねらい | 開催日時 | 開催場所 または集合場所 | 活動内容 | 講師 | 参加者数 | 社会教育委員による 事業評価 | | | | | | 評価シートから見えた課題 | 今年度対応した内容と 来年度対応する内容 | | | |
|-----|---|----------------------------------|-----------------|----------------------------------|-----------------------------|------|--------------------|--|-------------|--------------------------------------|----------|---|--------------|--|--|---|---|
| | | | | | | | 目的に対して、活動内容は適切であるか | | 受講時間は適切であるか | | 講座全体の雰囲気 | | | | 参加者の様子、取組む姿勢 (受講中の表情など) | | 全体を通しての感想及び 意見(自由記述欄) |
| | | | | | | | 評価 | コメント | 評価 | コメント | 評価 | コメント | | | 評価 | コメント | コメント |
| 高田区 | 地域の歴史や文化、自然など地域学習を中心に行い、地域の魅力を再発見することで、住民の意識統一を図ることができるよう促す。 1年目...高田区の歴史を学ぶほか、歴史的建築物や施設等の見学し、地域の現状を知る 2年目...高田区の歴史や地域の取り組みを学ぶとともに、3年目の活動内容について考える。 3年目...参加者での話し合いをもとに、活動(成果物作成も含む)を実践する。 | 【4回目】 11月1日(木) 9:30~15:30 | 高田地区公民館 | 【現地見学】 高田区を巡り、地域の魅力を発見する。 | 文化行政課 小島幸雄学芸員 | 19 | | ・地域の魅力再発見にはとても良い活動だった。 | | ・参加者の年齢を考慮すると4~5時間が限界かと思う。 | | ・講師の人柄があっただけで笑いもおきて楽しい雰囲気であったが、一部、女性のグループの私語があり講師から笑いのある注意を受けることもあった。 | | ・興味や関心を持って参加していた。 | ・この講座の事業評価に向き、いつも感じるのだが社教担当者と公民館主事との事前打合せやどちらが主導するのかがあいまいなことが多い。今回は、最初の見学先まちかど交流館では、説明していただいた文化振興課の職員に事前連絡していなかったようで、少し待たされて説明された職員も戸惑っていた。 ・社教の担当者は最初と最後の挨拶だけであとは公民館主事におまかせという、お客様スタイルはよくない。 ・女性参加者も多い講座で毎回、20人程度の参加(出席)もあり2年目、3年目と続いていくことを願っている。 | ・マイクの使用についての指摘 ・参加者の確保 ・次年度の講座内容の検討 | 【今年度】 ・マイクの使用についての指摘に関し、会場の広さ、講座参加者の年齢層を考慮し、会場設備マイクを借用し対応した。 【来年度】 ・参加者の確保について、参加者募集の段階で講座の趣旨及びすべての回への参加を説明し、学習講座のみの参加者が出ないよう働きかける。 ・次年度の講座内容の検討について、3年目の活動に向けての話し合いの場に参加者が積極的に議論するよう働きかけていく。 |
| | | 【5回目】 12月13日(火) 9:30~11:30 | 高田地区公民館 | 活動を振り返り、今後どのように生かせるか話し合いを行う。 | - | 11 | | ・今後の振り返りをして来年度に向けての話し合いとシート記入、発表を行い良かった。 | | ・活動内容からいってこの時間が適切だと思う。 | | ・3年間の1年目のしめくりでいきなり他区が作成したマップを示され、参加者に戸惑いがあったようだ。 | | ・少ない人数の参加者であったが、全員がグループ内で活発に討議が行われていた。 | ・受講者の半分以下の参加者、最後の講座でやはり現地学習以外は魅力がないのか。欠席者15人のうち、連絡なしが9人もいて当初4班編成を2班編成にせざるをえなかったが、参加者は熱心な討議、活動をしていてそれなりに意義があった。 ・募集をかける時に、3年間継続の講座であることや1年間の開催日が示されているのであるから、なるべく全講座に参加できること等を提示してもよいのではないかと感じた。 | | |
| 春日区 | 地域の魅力を再認識し、今後地域活性化に向けた取組について、住民の意識統一を図ることができるよう促す。 1年目...春日区の歴史や文化、地域団体の取り組み学び、地域の現状を知る。 2年目...春日区の歴史や文化への理解をより深め、3年目の活動内容について考える。 3年目...参加者での話し合いをもとに、活動(成果物作成も含む)を実践する。 | 【2回目】 7月10日(火) 9:00~11:30 | 春日神社 林泉寺 | 【現地見学】 春日神社や林泉寺を巡り、謙信公について学ぶ。 | 春日神社 宮司 風間常樹彦さん | 16 | | ・目標に向けて仲間づくりをする段階と考えれば、良い流れと思われる。 | | ・テーマや内容に個人差はあると思うが、参加者の状況から適切と思う。 | | ・趣味のある人の集まりであり、良い雰囲気だった。 | | ・積極的に質問や講師と意見交換するなど、前向きだった。 | ・「地域の課題に向き合い、まちづくりに向けて仲間づくりを進め人材を育成する」という目的に今回の講座の位置づけや成果をどう評価するのかわからない。 | ・講座の内容 ・参加者の確保 | 【来年度】 ・講座の内容について、1年目となる今年度は、地域のことを知る事が主な目的であったが、来年度は、より具体的に、「地域の課題は何か」「地域の魅力を高めることはできるか」といった意識を参加者に持ってもらうような、講座の内容とし、講座を進めていく必要がある。 ・参加者の確保について、1年目の参加者に継続して参加いただくよう呼びかけるとともに、友人、知人で興味がありそうな人がいたらお声掛けいたあくようお願いし、多くの方から参加いただけるよう働きかける。 |
| | | 【3回目】 8月7日(火) 9:30~11:00 | 春日地区公民館 | 春日山城跡の整備等に取り組んでいる団体の活動について学ぶ。 | 春日山城址保存整備促進協議会 会長 小山正明さん | 11 | | ・地域活動の実績や目的を知る事で地域を見直す機会になっていた。 | | ・参加者の構成から適切だと思う。 ・休憩の取り方や流れは良かった。 | | ・回を重ねて仲間意識も高まり、情報交換なども行われていた。 | | ・積極的な受講姿勢が好感だった。 | ・参加者が前回より減少しているのが、気掛かり。歴史を知る事が目的になっているので、仕方がないのか。 ・「元気の出るふるさと講座」として、たくさんの人から参加されるために何か仕掛けが必要。 | | |

| 地区名 | ねらい | 開催日時 | 開催場所 または集合場所 | 活動内容 | 講師 | 参加者数 | 社会教育委員による 事業評価 | | | | | | 評価シートから見えた課題 | 今年度対応した内容と 来年度対応する内容 | | | |
|------|--|----------------------------------|-----------------|---------------------------------------|--|------|--------------------|---|---|---|--|--|-------------------------|---|----------------------------|------|--------------------------|
| | | | | | | | 目的に対して、活動内容は適切であるか | | 受講時間は適切であるか | | 講座全体の雰囲気 | | | | 参加者の様子、取組む姿勢 (受講中の表情など) | | 全体を通しての感想及び 意見(自由記述欄) |
| | | | | | | | 評価 | コメント | 評価 | コメント | 評価 | コメント | | | 評価 | コメント | コメント |
| 直江津区 | 地域の歴史や史跡を学ぶほか、過去の災害や現在の防災対策について学ぶことで、住民の意識統一を図ることができるよう促す。 1年目...直江津区の歴史や災害などについて学び、地域の課題について把握する。 2年目...直江津区の歴史や他地区との関わりについて学ぶとともに、3年目の活動内容について考える。 3年目...参加者での話し合いをもとに、活動(成果物作成も含む)を実践する。 | [3回目] 9月8日(土) 9:00~11:30 | 直江津地区公民館 | 近代以降に賑わい栄えた直江津の様子について学ぶ。 | 文化行政課 小島幸雄学芸員 まちおこし直江津 佐藤和夫さん | 13 | | ・地域の地名や日本全国の地名などが出てきて、地域に興味を与えてくれる講座内容であったと感じられた。かつての直江津港の賑わいなど、この地域を誇らしく思わせてくれた。 | ・雨天だったが、朝9時の始まりはもう少し遅くてもよかったように感じた。 ・途中、休憩を入れての正味2時間ちょっとは適切な時間ではないかと感じられた。 | ・講座の講師、受講生ともに真面目に受講していた。 ・講師も経験談や冗談を交えながらの講義でももしろかった。雰囲気は和やかだった。 | ・受講者の向学心がうかがえて素晴らしいと感じられた。 ・少しでもたくさんのお話を吸収し、覚えていこうという意気込みが伝わってきた。 | ・スライドを多数準備され、非常に分かりやすく説明されており、身近なものに目を向けようとしてくれた。 ・直江津港の事について、細かい資料を使いながらひとつひとつ丁寧に説明されており、地元に誇りを持つことができるようになった。大変面白い講座であると思う。講師の資料収集およびスライドへおとしての準備作業の苦労を感じた。 ・スライドの資料を説明する時に、資料の文字が小さく判読できなかった。パソコンでのデジタル資料であったように見受けたので、説明時にパソコン内で拡大してもらえると分かりやすいと思った。 ・受講者が活動(作業等)できる場面があると面白かったように思う。今回は講義形式で巡検が活動的なのかと思った。 ・できれば若者の参加を増やしたいところである。 ・市役所職員は研修の一環として必ず1講座参加などすると良い。 | ・受講者の継続的な参加 ・若者の参加促進 | [来年度] ・受講者が継続的に参加してもらえよう、活動内容の検討や講座へ参加しやすい雰囲気作りなどの仕掛けが必要である。 ・直江津地区公民館の利用者の若者に対し、積極的な講座の周知や参加の呼びかけを行うとともに、1年目の参加から知り合いなどに声掛けしてもらえよう働きかける。 | | | |
| | | [4回目] 10月13日(土) 9:00~11:30 | 直江津地区公民館 | [現地見学] 地理から見る直江津や五智の災害や防災対策について学ぶ。 | 文化行政課 羽深忠司主任学芸員 上越市防災士会直江津支部長 植沢さん | 9 | | ・海岸段丘など地区の特徴を認識し関川河口の街としての防災の在り方などの内容があった。 | ・9時から11時20分で座学と現地研修とのバランスが良かった。 | ・直江津市内中心になごやかな雰囲気でもあり、後半の現地研修を中心に活発な話し合いがあった。 | ・当初構成員21名のところ10名。回をおって減少傾向。 | ・1年目の第4回「海と生きる私たちの防災」だが、関川水系の自然災害が中心。9時から10時20分、主任学芸員より直江津エリアの概要等について自己経験談を含めて親しみやすい話題提供だった。 ・防災について防災士よりスライド、プリント資料を基に具体的な説明があり、講義の中心の座学は関川を中心とする上越地域の河川水系の水害などで後半は、バスでの現地研修で郷津・五智公園などの地質、地形が中心だった。 ・開、閉会時のあいさつの中で良い企画であり3年目の好結果を目指してほしいとコメントをした。 | | | | | |
| 有田区 | 地域の歴史を学ぶほか、各小中学校や各活動団体との関わりを再認識することで、住民の意識統一を図ることができるよう促す。 1年目...有田区の歴史を学ぶほか、各小中学校や各活動団体との関わりを知る。 2年目...有田区の歴史や各活動団体などについて現地学習を取り入れながら理解を深め、3年目の活動内容について考える。 3年目...参加者での話し合いをもとに、活動(成果物作成も含む)を実践する。 | [2回目] 7月7日(土) 9:30~11:30 | 有田地区公民館 | 保倉川の増水など、町内会の防災対策について学ぶ。 | 佐内町町内会 高橋秀樹さん | 25 | | ・有田地区では、これまで水害が発生しており自分たちのこととしてとらえることができ、地域の防災を意識しながら活動することができた内容と考える。 | ・9時30分より2時間であったが、資料も充実しており適切な時間であると考えられる。 | ・中国、四国地方で雨による災害が発生していたので、熱心に話を聞いていた。 ・最後の振り返りでも一人一人が主体的に自分の感想を述べていた。 | ・これまでの経験を思い出しながら、説明にうなずきながら真剣に説明を聞いていた。中には7.11水害の新聞を持ってくる受講者もいた。 | ・これまでの歴史や現在の課題等、資料をたくさん準備してあり地域の防災を考えながら、日頃のコミュニケーションの重要性まで話題にすることができた。 ・最初からグループごとに座れる会場配置になっており、参加者は休憩時間等も和やかに話をしていた。 ・1回目の欠席者から自己紹介をしてもらう時間をとり、参加者が気持ちよく参加できるようコーディネーターが気配りをしており大変良かった。 ・参加者が23人と多くてよかった。魅力的な講座であるとともに、地域を大切にしたい講座内容になっていると感じた。参加者の中には地域に勤務する施設の管理者がいて、外部から有田地域に来ている方も満足できる内容だったと感じる。 ・講師の説明が素晴らしい。有田地域に住んでいるだけに、日頃から考えていることや地域の人知らない情報までポイントを押しさえ分かりやすく説明していた。 | なし | [来年度] 引き続き多くの参加者から参加してもらえよう、魅力的な講座内容を検討するほか、講座の周知や呼びかけを行っていきたい。 | | | |

平成 31 年度 社会教育団体に対する補助金交付について

| | |
|---------|---|
| 補助金名称 | 上越市小中学校 P T A 連絡協議会補助金 |
| 予 算 額 | 1,355 千円（前年度：811 千円） |
| 事 業 内 容 | 家庭・学校及び単位 P T A 相互の連携強化と地域の教育力の向上を図るため、上越市小中学校 P T A 連絡協議会が行う広報紙の発行や研究大会の開催等の事業を支援する。 |
| 対 象 団 体 | 上越市小中学校 P T A 連絡協議会 |

| | |
|---------|--|
| 補助金名称 | 岩内町交流事業補助金 |
| 予 算 額 | 40 千円（前年度：40 千円） |
| 事 業 内 容 | 青少年の健全育成を図るため、上越市子ども会連絡協議会が行う北海道岩内町児童との姉妹都市交流事業「ジュニア上越の船」で来越した児童と当市の児童との交流事業を支援する。 |
| 対 象 団 体 | 上越市子ども会連絡協議会 |

| | |
|---------|--|
| 補助金名称 | 上越市子ども交流活動支援事業補助金 |
| 予 算 額 | 750 千円（前年度：656 千円） |
| 事 業 内 容 | <p>子どもの異学年交流や地域交流等の促進を図り、ひいてはリーダー育成につながる各種活動を支援する。</p> <p>なお、平成 30 年度までの上越市子どもリーダー育成事業補助金について、利用実態や子ども会へのアンケート結果を踏まえて趣旨や補助対象団体の見直しを行い、子ども会が組織できない地域でも事業実施ができるよう地域青少年育成会議等を補助対象団体に追加する。</p> |
| 対 象 団 体 | 単位子ども会、地区子ども会連絡協議会、地域青少年育成会議、文化活動団体（5 人以上の構成員で組織され、市の区域内で活動する団体） |